

平成 26 年度北陸情報通信協議会定期総会を開催

～「北陸新幹線金沢開業に向けた“おもてなし”観光戦略」と題し、株式会社加賀屋 小田禎彦相談役が特別講演 ～

北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）は、平成 26 年 4 月 21 日（月）、KKR ホテル金沢において、平成 26 年度定期総会を開催し、役員、会員等約 100 名が出席しました。

冒頭、山元 修治副会長（日本放送協会 金沢放送局長）が、「北陸新幹線の金沢開業が平成 27 年春に迫り、同年秋には関係機関が協働で大型観光キャンペーンを開催する運びとなっている。広域観光に向けて積極的な取り組みがなされる一方、人口の減少と高齢化、医師不足、地域経済の疲弊など様々な地域的な課題を抱えており、今後は ICT の利活用によって、これらの課題の解決が期待されている。平成 26 年度は部会の再編が提案されているが、会員の皆様方の協力により部会活動を一層充実させ、北陸における情報通信の普及・発展と豊かな地域社会の実現に向けて貢献したい。」と挨拶しました。

続いて、伊丹 俊八顧問（総務省北陸総合通信局長）が、「4 月 8 日に公表した北陸総合通信局ミッションでは、北陸の自治体をはじめ産学等の様々な機関と連携・協働して、安心・安全で便利な街づくり、観光・産業振興による元気な地域の実現に ICT を手段として活用していただくことを基本理念に、①街づくり、②防災基盤、③技術開発・利用、④安心・安全なネット利用、⑤電波利用環境の 5 つの分野について目標を掲げて取り組んでいく。これらの取組を推進するには、北陸情報通信協議会との連携・協働をこれまで以上に密にして取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

引き続き、平成 25 年度の事業報告、決算報告、会計監査報告及び平成 26 年度の事業計画（案）、予算（案）、役員（案）について審議が行われ、それぞれが承認され、平成 26 年度は部会を再編し、「G 空間×ICT 街づくり推進部会」、「安心・安全部会」、「イノベーション部会」の 3 部会で活動していくとともに、永原 功北陸経済連合会会長が満場一致で会長に再任されました。

議事終了後、「農林水産部会」、「観光部会」及び「安心・安全部会」の各部会長から、平成 25 年度の調査研究活動について報告が行われました。

続いて行われた特別講演では、株式会社加賀屋相談役の小田 禎彦氏から、「北陸新幹線金沢開業に向けた“おもてなし”観光戦略」と題してご講演をいただき、北陸新幹線開業による観光客の増加が期待される中、北陸地域が連携して誘客に努めることの必要性や接客にあたる従業員の人材育成の重要性、“おもてなし”（相手の立場に立って思いやる心）を一つのビジネスとしてしっかり組み上げて取り組んでいきたいとの話がありました。



【挨拶する山元修治副会長】



【挨拶する伊丹俊八顧問】



【講演される小田禎彦相談役】



【各部会の平成 25 年度調査研究活動の報告】

- 農林水産部会
(報告者) 部会長 金平 勲 一般社団法人石川県情報システム工業会アドバイザー(左)
- 観光部会
(報告者) 部会長 堀 俊和 福井大学大学院教授(中)
- 安心・安全部会
(報告者) 部会長 宮島昌克 金沢大学理工研究域環境デザイン学系教授(右)



【定期総会】



【部会活動報告】



【特別講演】

連絡先：北陸総合通信局情報通信部電気通信事業課(担当：綿谷、石原)

電 話：076-233-4420